

〔曲名〕 Ricordo di Cairo

カイロの想出

〔曲種〕 Pezzo Arabo

〔作曲者〕 Giuseppe Manente

ジュゼッペ マネンテ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

1921年秋作者はエジプトから招聘せられてケディヴェに赴き、国王ファド・パシャの宮廷附楽団の指揮者となった。

ヴェルディ、ベルリーニ、マッチネルリ、マスカーニ、ポンキエルリ、等の作品を演奏し、殊にマスカーニ「太陽への讃歌」が国王お気に入りの曲になったことは前に述べたが、作者もこの時期にエジプトに取材した一連の作品がある。

本曲もその一つで、エジプト国王の侍従武官長シェハタ・カメル・パシャ将軍に捧げられている。

本曲の初演は1922年5月クルバン・バイラムの祭典に於いてエジプト国王吹奏楽団によって大成功を収め、

同年9月、作者自身によってマンドリン合奏曲に編曲されミラノのイル・プレットロから出版せられた。

原調はヘ短調であるがマンドリン合奏ではイ短調に移調され弾き易くなっている。

然し至る所に増二度の出るムーア風音階が用いてあるので注意を要する。

両スコアを比較すると速度、表情、記号、其他に吹奏楽スコアの方が指示が細いので之に従った。

音の構成には変りないがリズムに稍（やや）変えた箇所がある。

挿入した打楽器は之も吹奏楽から借用した。

作品340番。

マネンテの判明している各種器楽曲の作品表はかつて日本マンドリン連盟中部支部機関誌第一号に掲載したが

此処ではマンドリンに関する作品表を掲載する。

マネンテ在世中作者自筆による作品表を筆者は頂いているが、之等に筆者が他の器楽曲から編曲したものを加えた。\*印が之等を示す。

(ジュゼッペ・マネンテのマンドリンに関する作品表はその後より詳しい調査により作品表が掲載されましたので、別の作品表掲載してます)

1971年5月12日発行

イタリアマンドリン百曲選第11集より